

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師

菅家

智史



「朝日診療所の医療機能」

新年あけましておめでとうございます。私は只見町へ赴任して3度目の新年、町民の皆さんに支えていただき勤務を続けております。今回は新年ということもあり、改めて朝日診療所の医療機能を「外来診療」「入院診療」「急病対応」「在宅医療」「保健福祉活動」の5つに分け、改めて紹介したいと思います。

「外来診療」では、高血圧、糖尿病などの生活習慣病はもちろん、大病院の定期観察を引き継ぐ連携も行っています。遠くの病院まで通院するのが大変だ、という方は、診療所までご相談ください。月に1回の朝日診療所受診と数ヶ月〜1年に1回の病院受診を組み合わせたなど、病気の分野を問わず可能な限り対応いたします。

「入院診療」では、肺炎、尿路感染症など入院での治療が必要な病気で、かつ朝日診療所で対応可能と判断された方の治療を行っています。高齢の方の入院が中心ですが、介護施設の

整備が進んできたおかげで長期に入院する方はほとんどおらず、日単位〜週単位で退院される方がほとんどです。朝日診療所で治療困難な病気の際には責任をもって、他病院へ紹介しています。

「急病対応」としては、24時間365日診療可能な体制をとっています。救急車での急病人搬送も受け入れており、ニューズなどで紹介される「たらい回し」のような事態は一切ありません。しかし、私たち医師も人間ですので、夜間の呼び出しが頻回になると判断が鈍ることもありえます。最近では町民の皆さんが「急病のてびき」を見てくださるなど夜間休日の受診数が減ってきたため、夜間急病で受診した方の対応がより迅速にできています。今後も、急病の時に頼りにしていただける診療所であるよう、努力していきま

す。

「在宅医療」は最近ご希望が増えてきています。人手の関係

で、「今、具合が悪いから家まで診に来てくれ」というご要望にはなかなか応えられないのですが、高齢で家の外まで出ることが困難になった方を対象に、定期的にご自宅へ訪問して診療しています。今後も対象となる方は増えてくると思われま

すので、ご希望の方は診療所でご相談ください。

そして「保健福祉活動」です。病気はかかる前に「予防」することが最も大事です。健康診断、予防接種、健康講演会などの形で、町の保健福祉課と協力して活動しています。

このような活動を通して、「町の診療所」として住民の皆さんから頼りにされる診療所にしていきたいと考えています。皆様からいろいろなご要望を頂いており、すべてに応えることはできませんが、今後も努力していく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今月の運動

今月の運動も膝痛予防の運動をご紹介します。

膝回りの筋肉が弱くなると、膝の骨に強い負担がかかります。

冬は特に活動量が低下し、筋力が弱くなり関節が痛くなりやすい季節となります。



座った姿勢や横になった状態で、膝と膝の間に座布団や枕を挟み、挟んだものをつぶすように力いっぱい足に力を入れます。5〜10秒その姿勢を保ち、10回〜20回を目安に繰り返してみましょう。